

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市広瀬文化センター		
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団		
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 39,749人(前年度比 92.9%) 令和5年度 42,794人 令和4年度 20,454人(舞台機構改修工事のため令和4年10月1日から令和5年3月31日までホール利用を休止)		
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 116,348千円 (120,440千円) ・ その他市が負担した費用 17,766千円 (38,313千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 12,568千円 (14,295千円) ・ その他収入 195千円 (248千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施(令和7年2月1日～令和7年2月28日) ・「ご意見箱」の設置(通年) ・「ご意見カード」の配付(利用の都度) ・「ひろせ懇話会」の実施(令和7年6月26日、令和7年11月28日 広瀬市民センターと共催)		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	過去に施設使用料の徴収業務において発生した事務処理の誤りを重く受け止め、事務手順の見直しやチェック体制の強化など再発防止に向けて、より一層の業務改善に取り組んでいる。 評価すべき点としては、1階ロビーや2階オープンスペースなどを「マイギャラリー」として活用し、地域団体や文化・芸術活動の発表の場として有効に運用している点である。令和6年度には、マイギャラリーで開催された29件のイベントに、約23,500名の来場者があり、大いに賑わった。	24/24
II 施設の運営管理体制	定期的な巡回や点検・補修を実施し、安全の確保に努めている。災害発生時においても利用者の安全が確保されるよう、ホールの利用中止基準を設定し、事前に利用者へ説明を行うとともに、対応方法を確認している。 また、「大型バス等駐車場使用確認票」により、バスの入庫台数や入庫時間等を把握し、安全の確保にも取り組んでいる。加えて、積雪の多い地域であることを踏まえ、天候状況に応じて時間を問わず、歩道・階段・スロープの除雪作業を行い、施設周辺の歩行者の安全確保にも努めている。 また、請求書の誤交付が発生したことを真摯に受け止め、再発防止策を講じている。	30/31
III 施設・設備の維持管理	施設を快適に利用できるように保守点検や清掃を実施し、安全で衛生的な状態を維持している。 「エコにこマイスター」認定を受けるとともに、文化センター、市民センター、図書館、常駐委託業者の施設全体で「ごみ減量推進委員会」を設置し、ごみの発生の抑制やリサイクルに積極的に取り組んでいる。	24/24
IV サービスの質の向上	休館日を利用した館内会議、文化センターと市民センターによる毎朝の合同ミーティング、文化センターと常駐全業者による毎夕のミーティングなどにより、館内の様々な情報を伝達、共有することで、円滑な運営を図っている。 また、使用内容に応じたステージプランを用意し、ホームページや館内掲示板を活用して周知を図った。ステージプランには、使用が想定される附帯設備を明記したほか、目安となるホール使用料及び附帯設備使用料も明記し、より理解が深まるよう取り組んでいる。 常設のご意見箱や年1回のアンケートのほか、利用時に配付する「ご意見カード」により多くのご意見やご要望などを把握し、可能なものから順次、改善に取り組んだ。また、地域団体や利用団体等の出席による「ひろせ懇話会」を2度開催して地域の声を聞き、サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	地域団体、町内会、子ども会、児童館等と連携して花植えなどの環境美化やその他自主事業などの数多くの事業を継続することにより、地域団体との連携を深め、良好な関係を継続している。「宮城地区まつり」では、運営スタッフとしてステージ運営のサポートを行うなど、地域のイベントに積極的に協力している。 また、併設施設や地域団体等と連携し、「広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団白Aと一緒に～」や「広瀬のひびき」など、数多くの事業を市民とともに創り上げることで、併設施設や地域団体との連携をさらに深めている。	5/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
[施設の使用許可等について] 指定管理者として条例等を遵守し、施設の使用許可にあたっては公平・公正に取り扱うべきところ、施設使用料の徴収業務におきまして、個人情報を含んだ事務処理にミスが生じてしまい、利用者及び貴市の皆様には多大なご迷惑をお掛けしてしまいました。今後、繰り返すことのないよう、必ず市民利用施設予約システム内の情報と自館で作成している予定表を照合させ、誤りがないかを確認するとともに、速やかに他の職員が確認するように取り組んでおり、併せて、書類交付の際には明記されている宛名を読み上げ、お客様にも宛名を示してご確認いただいた上で交付しております。 [施設維持管理に関する取り組み] 定期的な巡視を行い、事故防止や危険箇所の早期発見等に取り組みました。 また、今後予定されている大規模改修に向けて、貴市所管課及び工事関係課、設計業者等との連絡調整や情報共有に努め、スムーズに準備、計画等が進展するよう取り組みました。 [自主事業の実施について] 「広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～」や「ひろせサマーナイトコンサート2024&民俗芸能フェスティバル～」など、概ね計画どおりに開催することができました。 また、当文化センター敷地内も会場の一部となって行われた「宮城地区まつり」に実行委員として携わり、専門分野を活かしてステージ部門の中心的な役割りを担うなど、地域のイベントに協力しました。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
施設の目的や基本方針の確立に関しては、施設使用料徴収事務において事務処理のミスが発生した。令和6年度中に経過報告と対応策を速やかに提出して改善を図るとともに、事態を重く受け止めて、事務手順の見直しやチェック体制の強化など再発防止に取り組んでいる。 施設の運営や維持管理は、協定書や条例等を遵守し、適切に実施されている。施設や利用者の安全のため、定期的な巡回や点検を実施しているほか、施設周辺の歩行者の事故防止にも努めている。また、環境に配慮した施設運営の一環として、施設全体で意識向上を図っており、ごみの分別やリサイクルに積極的に取り組み「エコにこマイスター」の認定を受けるなど、環境意識の啓発や資源の有効活用に取り組んでいる。 サービス面では、施設関係者間の打ち合わせでの様々な情報共有に加え、ご意見箱の設置や年1回のアンケート、利用時に配布する「ご意見カード」等により、さらには地域団体や利用団体の出席による「ひろせ懇話会」を年2回開催するなど、利用者の意見を幅広く収集し、順次改善を行っていくことで、利便性や満足度の向上に努めており、円滑な運営ができている。 自主事業や地域との関わりについては、地区唯一の劇場型ホールとして地域の文化芸術活動を支援し、その向上に寄与している。「マイステージinひろせ」では、館内のミニステージやオープンスペースを文化芸術活動の発表の場として提供しており、演出や広報などにおける支援も充実している。多数の参加者・来場者が集うことで、市民の交流促進の場としての役割も果たしていると考えられる。さらには、「第36回宮城地区まつり」などにおいて、職員が実行委員として地域イベントに積極的に協力しているほか、併設施設・地域団体と連携して魅力ある様々な事業を実施しており、それらの取り組みは、施設の利用促進や地域活性化に大いに貢献していると評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課): 青葉区宮城総合支所まちづくり推進課